

2011.9.30 第78号



地域づくりコミュニケーション
— 農村振興メールマガジン —

農林水産省農村振興局



◆◇ 目 次 ◇◆

【 農村振興支援情報 】

■ 平成24年度農村振興局予算概算要求の概要

◇農村振興局関連予算の重点事項

【 農村振興支援情報 】

■ 地域活性化に向けた取組

◇「太郎生を元気に」を合い言葉に新たな交流施設が誕生
～三重県津市～

◇棚田の中に集落が溶け込む農村景観づくり
～兵庫県多可郡多可町岩座神～

■ 報告・お知らせ

◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

◇政府広報オンライン【特集】で「食と地域の『絆』づくり」を紹介

◇耕作放棄地の再生・活用に向けた「農地等活用ボランティア情報交換会」
を開催
～滋賀県東近江市～

◇近畿農政局職員による「みんなで耕し隊」を派遣
～滋賀県東甲賀市甲賀町滝地域・京都府南山城村高尾地域～

◇大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」開催案内
(10/30)

◇農村計画学会 2011年度秋期大会シンポジウム開催案内（11／26）

【農村振興支援情報】

- 平成24年度農村振興局予算概算要求の概要
- ◇予算概算要求の重点事項（農村振興局関連）

平成24年度農林水産予算概算要求の重点事項のうち農村振興局関連について紹介します。（ ）は復旧・復興対策分で外数。

[我が国農業を支える人材の確保と農地集積]

<戸別所得補償制度等の実施>

- 中山間地域等直接支払交付金 ······ 260億円
 - ・条件不利地域における戸別所得補償制度の適切な補完となるよう、農業者に生産条件の不利を補正する交付金を交付

- 農地・水保全管理支払交付金 ······ 251億円（6億円）
 - ・地域共同による農地・農業用水等の保全管理や施設の長寿命化のための活動等を支援するとともに集落を支える体制を強化

[農山漁村の6次産業化]

- 食と地域の交流促進対策交付金 ······ 15億円
 - ・食を始めとする農山漁村の豊かな資源を活かし、集落ぐるみで都市農村交流等を促進する取組を国が直接支援

[農業農村整備対策]

- 農業農村整備事業 ······ 2,222億円（452億円）
 - ・農業水利施設等の防災・減災対策を図りつつ、食料自給率向上及び安全・安心な農村づくりのための基盤整備を推進

- 戦略作物拡大・防災保全整備事業 ······ 270億円（20億円）
 - ・農地の畦畔除去、老朽施設の更新等のきめ細かな基盤整備を通じ、農業の体质強化と安全な地域づくりを推進

- 農地・水保全管理支払交付金（再掲）のうち、長寿命化対策分

· · · · · 62億円

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/pdf/110930-01.pdf>

■ 地域活性化に向けた取組

◇「太郎生を元気に」を合い言葉に新たな交流施設が誕生

～三重県津市～

10月23日（日）、三重県津市美杉町の旧旅館が新たな交流施設「たろうと（太郎生人）三国屋」に生まれ変わります。施設名は、地区名の「太郎生」（たろう）と旧旅館名「三国屋」（みくにや）から付けられました。

この施設は、地域の食材を使った料理の提供、漬物やヒノキオイル等土産物の販売のほか、宿泊所としても利用できることから、都市との交流人口の増加が期待されています。今後、この施設を中心として、田舎暮らし体験、農業体験、森林セラピー、ロードウォーキングなどのイベントも予定されています。

なお、施設の改装には農山漁村活性化プロジェクト支援交付金が活用されました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/tokai/noson/shinko/green/event/tyuumoku.html>

（東海農政局農村計画部農村振興課）

◇棚田の中に集落が溶け込む農村景観づくり

～兵庫県多可郡多可町岩座神～

今回紹介する兵庫県多可郡多可町（たかちょう）の岩座神（いさりがみ）は、標高300m～400mに位置する戸数21戸の自然豊かなむらで、棚田は「日本の棚田百選」に認定されています。

少子高齢化が進む中、「都市との交流」を目的に、地域全戸で「岩座神棚田保存会」を結成し、平成9年から棚田オーナー制度を始め、毎年イベント等を実施し、都市住民との交流を深め、米づくりを通して、農業の大切さ、自然の良さを共に学習するスタイルが定着してきました。

自然を守るために全戸が協力して、棚田の石垣にはマンネン草を植栽し、転

作田にはソバを植栽して「岩座神ソバ」を、また婦人グループでは葉わさび漬けを、老人会ではソバガラを使いソバガラ枕を作つて、それぞれ販売するなど様々な活動を展開しています。

保存会の活動の最も大きな効果は、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が住民の中に育つたことです。これから特徴的な集落景観を更に魅力あるものにすることを目指しています。

これらの活動が評価され、第6回美の里づくりコンクール（平成22年度）において、「岩座神棚田保存会」が審査会特別賞を受賞しました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

http://www.takacho.jp/oraga/kami/oraga_kami_isarigami.html

(近畿農政局農村計画部農村振興課)

■ 報告・お知らせ

◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

農山漁村を訪れる方々に安全かつ有意義な時間を過ごしていただくため、地域の案内や体験活動を指導できる人材“GTインストラクター”が求められています。（財）都市農山漁村交流活性化機構では、「地域案内コース（GTインストラクター入門編）」（9月7日～9日開催済）、「体験指導コース（GTインストラクター実践編）」（12月13日～16日開催）、「企画立案コース（GTインストラクター上級編）」（平成24年3月6日～9日開催）の3コースを開設しています。

受講者全員に修了証を付与し、各コース最終日の試験に合格された方を認定者（入門編：エスコーラー、実践編：インストラクター、上級編：コーディネーター）として同機構の「GT人材データベース」に登録します。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.ohrai.jp/school/green1.html>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

◇政府広報オンライン【特集】で「食と地域の『絆』づくり」を紹介

「食と地域の『絆』づくり」とは、農林水産業と、その舞台となる農山漁村の活力を再生するため、地域内外の結び付きによる創意工夫にあふれた地域活性化の取組を優良事例として選定し、発信・奨励するものです。

この「食と地域の『絆』づくり」について、昨年度選定された優良事例を中心、政府広報オンライン（内閣府政府広報室のホームページ）の【特集】で紹介しています。

詳しくは、以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.gov-online.go.jp/featured/201109/index.html>

（都市農村交流課活性化推進班）

◇耕作放棄地の再生・活用に向けた「農地等活用ボランティア情報交換会」
を開催
～滋賀県東近江市～

近畿農政局では、耕作放棄地の再生・活用の取組の一つとして農業ボランティア活動に注目し、農政局のホームページに農業ボランティア団体のリストや活動状況を閲覧できる「情報プラットホーム」を開設（平成23年7月）するとともに、9月15日（木）に事例研究や相互交流を目的とした「農地等活用ボランティア情報交換会」を、近畿農政局主催で滋賀県東近江市（ひがしおうみし）において開催しました。当日は、NPO法人、大学、企業、生協、府県、市、農業者、新聞社から35名の参加を得ました。

午前の部では、NPO法人愛のまちエコ俱楽部（滋賀県東近江市）の会員である、梨農家、ぶどう農家、ブルーベリー・茶農家の樹園地で、現地見学を行い、都市住民の受入状況について説明を受けました。

午後の部では、滋賀県農業技術振興センター栽培研究部の寺本部長から、鳥獣害対策についての話題提供を、NPO法人愛のまちエコ俱楽部の増田事務局長からエコ俱楽部の取組についての事例発表を、それぞれ行っていただきました。

引き続き、京都府立大学大学院の宮崎教授の進行により、増田事務局長、特定非営利活動法人里山俱楽部（大阪府松原市）の寺川理事、NPO法人棚田Lover's（兵庫県市川町）の永菅理事長、近畿大学農学部（奈良県奈良市）の津國准教授及び平尾 里山・棚田守り人の会（滋賀県大津市）の松本運営委員長から、それぞれの活動についての情報提供及び意見交換が行われました。

意見交換の最後には、「今後のボランティア活動の形態は、農業支援型から農

業保全型の取組が増えることが予想され、既に農地保全をビジネスのように展開する事例が出現」、「ボランティアを確保するためには、企業や大学との連携、参加者の意識に応じたインセンティブを高めるためのメニューの充実が必要」といったポイントを宮崎教授に取りまとめていただきました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/nouchi/novola/index.html>

(近畿農政局企画調整室・農村計画部農村振興課)

◇近畿農政局職員による「みんなで耕し隊」を派遣

～滋賀県東甲賀市甲賀町滝地域・京都府南山城村高尾地域～

近畿農政局では、先の「農地等活用ボランティア情報交換会」の取組に加え、耕作放棄地の再生・活用を支援するため、農政局職員による「みんなで耕し隊」を結成し、自らがボランティア活動にも取り組んでいます。

第1回は、8月27日（土）に滋賀県甲賀市甲賀町（こうかちょう）滝（たき）地域において、耕作放棄された水田（40アール程度）を対象に、農政局職員23名と集落の方等で草刈り等を行いました。この水田は、来年度、地域の営農農組合等による水稻の作付けを予定しています。

第2回は、9月18日（日）に京都府南山城村（みなみやましろむら）高尾（たかお）地域において、農政局職員15名と集落の方等で耕作放棄された水田（40アール程度）の草刈り等を行いました。今後、地元農家と都市住民等による耕作が検討されています。

(近畿農政局企画調整室・農村計画部農村振興課)

◇大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」開催案内

(10／30)

豊かで美しい農村環境と、活力と魅力にあふれた農村社会の創出を目指す教育・研究者、行政実務者、技術者及び地域生活者の交流・啓発の場である農村計画学会では、大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

○日時：平成23年10月30日（日）14：00～18：00

- 場所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール（宮城県仙台市）
- 参加費：無料
- 参加申込：事前申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

【問い合わせ先】

明治大学 服部俊宏

E-mail hattor@meiji.ac.jp

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/index.htm>

(農村計画学会)

◇農村計画学会2011年度秋期大会シンポジウム開催案内（11／26）

農村計画学会では、「『阿蘇草原保全の現状と再生への課題』～阿蘇の文化的景観の持続的保全管理と地域活性化を求めて～」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

- 日時：平成23年11月26日（土）13：30～17：20
- 場所：九州大学箱崎キャンパス内 国際ホール

なお、翌日には、学術研究発表会を開催します。

【問い合わせ先】

農村計画学会2011年度秋期大会実行委員会事務局

九州大学大学院農学研究院 福田 晋

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
E-mail sufukuda@agr.kyushu-u.ac.jp
TEL & FAX 092-642-2978

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/index.htm>

(農村計画学会)

◆◇ 編集後記 ◇◆

世界ジオパークネットワークは今月18日、高知県の「室戸」地域を「世界ジオパーク」に認定すると発表しました。

「世界ジオパーク」とは、世界的に貴重な地形や地質の成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えることができる大地の公園のことです。

ジオパークは、ユネスコの支援により2004年に設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されている活動で、その指針のなかには、「ジオツーリズムなどを通じて、地域の持続可能な社会・経済発展を育成すること」などが含まれています。

2010年3月現在で全世界では64地域が認定されています。国内では、今回の室戸のほかに、「洞爺湖有珠山」、「島原半島」、「糸魚川」、「山陰海岸」の4か所が認定されています。

これから秋の行楽シーズンを迎えます。皆さんも「世界ジオパーク」を訪れて、地球の成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えてみてはいかがですか。

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能な限り回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問合せについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）稻垣

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580

2011. 9. 30 第78号

地域づくりコミュニケーション — 農村振興メールマガジン —

農林水產省農村振興局

◆◆ 目 次 ◆◆

【 農村振興支援情報 】

- ## ■ 平成24年度農村振興局予算概算要求の概要 ◇農村振興局関連予算の重点事項

【 農村振興支援情報 】

- 地域活性化に向けた取組
 - ◇ 「太郎生を元気に」を合い言葉に新たな交流施設が誕生
～三重県津市～

- ## ◇棚田の中に集落が溶け込む農村景観づくり ～兵庫県多可郡多可町岩座神～

■ 報告・お知らせ

- ## ◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

- ◇政府広報オンライン【特集】で「食と地域の『絆』づくり」を紹介

- ◇耕作放棄地の再生・活用に向けた「農地等活用ボランティア情報交換会」
を開催
～滋賀県東近江市～

- ◇近畿農政局職員による「みんなで耕し隊」を派遣
～滋賀県東甲賀市甲賀町滝地域・京都府南山城村高尾地域～

- ## ◇大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」開催案内 (10/30)

◇農村計画学会 2011年度秋期大会シンポジウム開催案内（11／26）

【農村振興支援情報】

- 平成24年度農村振興局予算概算要求の概要
- ◇予算概算要求の重点事項（農村振興局関連）

平成24年度農林水産予算概算要求の重点事項のうち農村振興局関連について紹介します。（ ）は復旧・復興対策分で外数。

[我が国農業を支える人材の確保と農地集積]

<戸別所得補償制度等の実施>

- 中山間地域等直接支払交付金 ······ 260億円
 - ・条件不利地域における戸別所得補償制度の適切な補完となるよう、農業者に生産条件の不利を補正する交付金を交付

- 農地・水保全管理支払交付金 ······ 251億円（6億円）
 - ・地域共同による農地・農業用水等の保全管理や施設の長寿命化のための活動等を支援するとともに集落を支える体制を強化

[農山漁村の6次産業化]

- 食と地域の交流促進対策交付金 ······ 15億円
 - ・食を始めとする農山漁村の豊かな資源を活かし、集落ぐるみで都市農村交流等を促進する取組を国が直接支援

[農業農村整備対策]

- 農業農村整備事業 ······ 2,222億円（452億円）
 - ・農業水利施設等の防災・減災対策を図りつつ、食料自給率向上及び安全・安心な農村づくりのための基盤整備を推進

- 戦略作物拡大・防災保全整備事業 ······ 270億円（20億円）
 - ・農地の畦畔除去、老朽施設の更新等のきめ細かな基盤整備を通じ、農業の体质強化と安全な地域づくりを推進

- 農地・水保全管理支払交付金（再掲）のうち、長寿命化対策分

· · · · · 62億円

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/pdf/110930-01.pdf>

■ 地域活性化に向けた取組

◇「太郎生を元気に」を合い言葉に新たな交流施設が誕生

～三重県津市～

10月23日（日）、三重県津市美杉町の旧旅館が新たな交流施設「たろうと（太郎生人）三国屋」に生まれ変わります。施設名は、地区名の「太郎生」（たろう）と旧旅館名「三国屋」（みくにや）から付けられました。

この施設は、地域の食材を使った料理の提供、漬物やヒノキオイル等土産物の販売のほか、宿泊所としても利用できることから、都市との交流人口の増加が期待されています。今後、この施設を中心として、田舎暮らし体験、農業体験、森林セラピー、ロードウォーキングなどのイベントも予定されています。

なお、施設の改装には農山漁村活性化プロジェクト支援交付金が活用されました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/tokai/noson/shinko/green/event/tyuumoku.html>

（東海農政局農村計画部農村振興課）

◇棚田の中に集落が溶け込む農村景観づくり

～兵庫県多可郡多可町岩座神～

今回紹介する兵庫県多可郡多可町（たかちょう）の岩座神（いさりがみ）は、標高300m～400mに位置する戸数21戸の自然豊かなむらで、棚田は「日本の棚田百選」に認定されています。

少子高齢化が進む中、「都市との交流」を目的に、地域全戸で「岩座神棚田保存会」を結成し、平成9年から棚田オーナー制度を始め、毎年イベント等を実施し、都市住民との交流を深め、米づくりを通して、農業の大切さ、自然の良さを共に学習するスタイルが定着してきました。

自然を守るために全戸が協力して、棚田の石垣にはマンネン草を植栽し、転

作田にはソバを植栽して「岩座神ソバ」を、また婦人グループでは葉わさび漬けを、老人会ではソバガラを使いソバガラ枕を作つて、それぞれ販売するなど様々な活動を展開しています。

保存会の活動の最も大きな効果は、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が住民の中に育つたことです。これから特徴的な集落景観を更に魅力あるものにすることを目指しています。

これらの活動が評価され、第6回美の里づくりコンクール（平成22年度）において、「岩座神棚田保存会」が審査会特別賞を受賞しました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

http://www.takacho.jp/oraga/kami/oraga_kami_isarigami.html

(近畿農政局農村計画部農村振興課)

■ 報告・お知らせ

◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

農山漁村を訪れる方々に安全かつ有意義な時間を過ごしていただくため、地域の案内や体験活動を指導できる人材“GTインストラクター”が求められています。（財）都市農山漁村交流活性化機構では、「地域案内コース（GTインストラクター入門編）」（9月7日～9日開催済）、「体験指導コース（GTインストラクター実践編）」（12月13日～16日開催）、「企画立案コース（GTインストラクター上級編）」（平成24年3月6日～9日開催）の3コースを開設しています。

受講者全員に修了証を付与し、各コース最終日の試験に合格された方を認定者（入門編：エスコーラー、実践編：インストラクター、上級編：コーディネーター）として同機構の「GT人材データベース」に登録します。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.ohrai.jp/school/green1.html>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

◇政府広報オンライン【特集】で「食と地域の『絆』づくり」を紹介

「食と地域の『絆』づくり」とは、農林水産業と、その舞台となる農山漁村の活力を再生するため、地域内外の結び付きによる創意工夫にあふれた地域活性化の取組を優良事例として選定し、発信・奨励するものです。

この「食と地域の『絆』づくり」について、昨年度選定された優良事例を中心、政府広報オンライン（内閣府政府広報室のホームページ）の【特集】で紹介しています。

詳しくは、以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.gov-online.go.jp/featured/201109/index.html>

（都市農村交流課活性化推進班）

◇耕作放棄地の再生・活用に向けた「農地等活用ボランティア情報交換会」
を開催
～滋賀県東近江市～

近畿農政局では、耕作放棄地の再生・活用の取組の一つとして農業ボランティア活動に注目し、農政局のホームページに農業ボランティア団体のリストや活動状況を閲覧できる「情報プラットホーム」を開設（平成23年7月）するとともに、9月15日（木）に事例研究や相互交流を目的とした「農地等活用ボランティア情報交換会」を、近畿農政局主催で滋賀県東近江市（ひがしおうみし）において開催しました。当日は、NPO法人、大学、企業、生協、府県、市、農業者、新聞社から35名の参加を得ました。

午前の部では、NPO法人愛のまちエコ俱楽部（滋賀県東近江市）の会員である、梨農家、ぶどう農家、ブルーベリー・茶農家の樹園地で、現地見学を行い、都市住民の受入状況について説明を受けました。

午後の部では、滋賀県農業技術振興センター栽培研究部の寺本部長から、鳥獣害対策についての話題提供を、NPO法人愛のまちエコ俱楽部の増田事務局長からエコ俱楽部の取組についての事例発表を、それぞれ行っていただきました。

引き続き、京都府立大学大学院の宮崎教授の進行により、増田事務局長、特定非営利活動法人里山俱楽部（大阪府松原市）の寺川理事、NPO法人棚田Lover's（兵庫県市川町）の永菅理事長、近畿大学農学部（奈良県奈良市）の津國准教授及び平尾 里山・棚田守り人の会（滋賀県大津市）の松本運営委員長から、それぞれの活動についての情報提供及び意見交換が行われました。

意見交換の最後には、「今後のボランティア活動の形態は、農業支援型から農

業保全型の取組が増えることが予想され、既に農地保全をビジネスのように展開する事例が出現」、「ボランティアを確保するためには、企業や大学との連携、参加者の意識に応じたインセンティブを高めるためのメニューの充実が必要」といったポイントを宮崎教授に取りまとめていただきました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/nouchi/novola/index.html>

(近畿農政局企画調整室・農村計画部農村振興課)

◇近畿農政局職員による「みんなで耕し隊」を派遣

～滋賀県東甲賀市甲賀町滝地域・京都府南山城村高尾地域～

近畿農政局では、先の「農地等活用ボランティア情報交換会」の取組に加え、耕作放棄地の再生・活用を支援するため、農政局職員による「みんなで耕し隊」を結成し、自らがボランティア活動にも取り組んでいます。

第1回は、8月27日（土）に滋賀県甲賀市甲賀町（こうかちょう）滝（たき）地域において、耕作放棄された水田（40アール程度）を対象に、農政局職員23名と集落の方等で草刈り等を行いました。この水田は、来年度、地域の営農農組合等による水稻の作付けを予定しています。

第2回は、9月18日（日）に京都府南山城村（みなみやましろむら）高尾（たかお）地域において、農政局職員15名と集落の方等で耕作放棄された水田（40アール程度）の草刈り等を行いました。今後、地元農家と都市住民等による耕作が検討されています。

(近畿農政局企画調整室・農村計画部農村振興課)

◇大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」開催案内

(10／30)

豊かで美しい農村環境と、活力と魅力にあふれた農村社会の創出を目指す教育・研究者、行政実務者、技術者及び地域生活者の交流・啓発の場である農村計画学会では、大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

○日時：平成23年10月30日（日）14：00～18：00

- 場所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール（宮城県仙台市）
- 参加費：無料
- 参加申込：事前申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

【問い合わせ先】

明治大学 服部俊宏

E-mail hattor@meiji.ac.jp

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/index.htm>

(農村計画学会)

◇農村計画学会2011年度秋期大会シンポジウム開催案内（11／26）

農村計画学会では、「『阿蘇草原保全の現状と再生への課題』～阿蘇の文化的景観の持続的保全管理と地域活性化を求めて～」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

- 日時：平成23年11月26日（土）13：30～17：20
- 場所：九州大学箱崎キャンパス内 国際ホール

なお、翌日には、学術研究発表会を開催します。

【問い合わせ先】

農村計画学会2011年度秋期大会実行委員会事務局

九州大学大学院農学研究院 福田 晋

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

E-mail sufukuda@agr.kyushu-u.ac.jp

TEL & FAX 092-642-2978

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/index.htm>

(農村計画学会)

◆◇ 編集後記 ◇◆

世界ジオパークネットワークは今月18日、高知県の「室戸」地域を「世界ジオパーク」に認定すると発表しました。

「世界ジオパーク」とは、世界的に貴重な地形や地質の成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えることができる大地の公園のことです。

ジオパークは、ユネスコの支援により2004年に設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されている活動で、その指針のなかには、「ジオツーリズムなどを通じて、地域の持続可能な社会・経済発展を育成すること」などが含まれています。

2010年3月現在で全世界では64地域が認定されています。国内では、今回の室戸のほかに、「洞爺湖有珠山」、「島原半島」、「糸魚川」、「山陰海岸」の4か所が認定されています。

これから秋の行楽シーズンを迎えます。皆さんも「世界ジオパーク」を訪れて、地球の成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えてみてはいかがですか。

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能な限り回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問合せについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）稻垣

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580

2011. 9. 30 第78号

地域づくりコミュニケーション — 農村振興メールマガジン —

農林水產省農村振興局

◆◆ 目 次 ◆◆

【 農村振興支援情報 】

- ## ■ 平成24年度農村振興局予算概算要求の概要 ◇農村振興局関連予算の重点事項

【 農村振興支援情報 】

- 地域活性化に向けた取組
 - ◇ 「太郎生を元気に」を合い言葉に新たな交流施設が誕生
～三重県津市～

- ## ◇棚田の中に集落が溶け込む農村景観づくり ～兵庫県多可郡多可町岩座神～

■ 報告・お知らせ

- #### ◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

- ◇政府広報オンライン【特集】で「食と地域の『絆』づくり」を紹介

- ◇耕作放棄地の再生・活用に向けた「農地等活用ボランティア情報交換会」を開催
～滋賀県東近江市～

- ◇近畿農政局職員による「みんなで耕し隊」を派遣
～滋賀県東甲賀市甲賀町滝地域・京都府南山城村高尾地域～

- ## ◇大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」開催案内 (10/30)

◇農村計画学会 2011年度秋期大会シンポジウム開催案内（11／26）

【農村振興支援情報】

- 平成24年度農村振興局予算概算要求の概要
- ◇予算概算要求の重点事項（農村振興局関連）

平成24年度農林水産予算概算要求の重点事項のうち農村振興局関連について紹介します。（ ）は復旧・復興対策分で外数。

[我が国農業を支える人材の確保と農地集積]

<戸別所得補償制度等の実施>

- 中山間地域等直接支払交付金 ······ 260億円
 - ・条件不利地域における戸別所得補償制度の適切な補完となるよう、農業者に生産条件の不利を補正する交付金を交付

- 農地・水保全管理支払交付金 ······ 251億円（6億円）
 - ・地域共同による農地・農業用水等の保全管理や施設の長寿命化のための活動等を支援するとともに集落を支える体制を強化

[農山漁村の6次産業化]

- 食と地域の交流促進対策交付金 ······ 15億円
 - ・食を始めとする農山漁村の豊かな資源を活かし、集落ぐるみで都市農村交流等を促進する取組を国が直接支援

[農業農村整備対策]

- 農業農村整備事業 ······ 2,222億円（452億円）
 - ・農業水利施設等の防災・減災対策を図りつつ、食料自給率向上及び安全・安心な農村づくりのための基盤整備を推進

- 戦略作物拡大・防災保全整備事業 ······ 270億円（20億円）
 - ・農地の畦畔除去、老朽施設の更新等のきめ細かな基盤整備を通じ、農業の体质強化と安全な地域づくりを推進

- 農地・水保全管理支払交付金（再掲）のうち、長寿命化対策分

· · · · · 62億円

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/pdf/110930-01.pdf>

■ 地域活性化に向けた取組

◇「太郎生を元気に」を合い言葉に新たな交流施設が誕生

～三重県津市～

10月23日（日）、三重県津市美杉町の旧旅館が新たな交流施設「たろうと（太郎生人）三国屋」に生まれ変わります。施設名は、地区名の「太郎生」（たろう）と旧旅館名「三国屋」（みくにや）から付けられました。

この施設は、地域の食材を使った料理の提供、漬物やヒノキオイル等土産物の販売のほか、宿泊所としても利用できることから、都市との交流人口の増加が期待されています。今後、この施設を中心として、田舎暮らし体験、農業体験、森林セラピー、ロードウォーキングなどのイベントも予定されています。

なお、施設の改装には農山漁村活性化プロジェクト支援交付金が活用されました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/tokai/noson/shinko/green/event/tyuumoku.html>

（東海農政局農村計画部農村振興課）

◇棚田の中に集落が溶け込む農村景観づくり

～兵庫県多可郡多可町岩座神～

今回紹介する兵庫県多可郡多可町（たかちょう）の岩座神（いさりがみ）は、標高300m～400mに位置する戸数21戸の自然豊かなむらで、棚田は「日本の棚田百選」に認定されています。

少子高齢化が進む中、「都市との交流」を目的に、地域全戸で「岩座神棚田保存会」を結成し、平成9年から棚田オーナー制度を始め、毎年イベント等を実施し、都市住民との交流を深め、米づくりを通して、農業の大切さ、自然の良さを共に学習するスタイルが定着してきました。

自然を守るために全戸が協力して、棚田の石垣にはマンネン草を植栽し、転

作田にはソバを植栽して「岩座神ソバ」を、また婦人グループでは葉わさび漬けを、老人会ではソバガラを使いソバガラ枕を作つて、それぞれ販売するなど様々な活動を展開しています。

保存会の活動の最も大きな効果は、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が住民の中に育つたことです。これから特徴的な集落景観を更に魅力あるものにすることを目指しています。

これらの活動が評価され、第6回美の里づくりコンクール（平成22年度）において、「岩座神棚田保存会」が審査会特別賞を受賞しました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

http://www.takacho.jp/oraga/kami/oraga_kami_isarigami.html

(近畿農政局農村計画部農村振興課)

■ 報告・お知らせ

◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

農山漁村を訪れる方々に安全かつ有意義な時間を過ごしていただくため、地域の案内や体験活動を指導できる人材“GTインストラクター”が求められています。（財）都市農山漁村交流活性化機構では、「地域案内コース（GTインストラクター入門編）」（9月7日～9日開催済）、「体験指導コース（GTインストラクター実践編）」（12月13日～16日開催）、「企画立案コース（GTインストラクター上級編）」（平成24年3月6日～9日開催）の3コースを開設しています。

受講者全員に修了証を付与し、各コース最終日の試験に合格された方を認定者（入門編：エスコーラー、実践編：インストラクター、上級編：コーディネーター）として同機構の「GT人材データベース」に登録します。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.ohrai.jp/school/green1.html>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

◇政府広報オンライン【特集】で「食と地域の『絆』づくり」を紹介

「食と地域の『絆』づくり」とは、農林水産業と、その舞台となる農山漁村の活力を再生するため、地域内外の結び付きによる創意工夫にあふれた地域活性化の取組を優良事例として選定し、発信・奨励するものです。

この「食と地域の『絆』づくり」について、昨年度選定された優良事例を中心、政府広報オンライン（内閣府政府広報室のホームページ）の【特集】で紹介しています。

詳しくは、以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.gov-online.go.jp/featured/201109/index.html>

（都市農村交流課活性化推進班）

◇耕作放棄地の再生・活用に向けた「農地等活用ボランティア情報交換会」
を開催
～滋賀県東近江市～

近畿農政局では、耕作放棄地の再生・活用の取組の一つとして農業ボランティア活動に注目し、農政局のホームページに農業ボランティア団体のリストや活動状況を閲覧できる「情報プラットホーム」を開設（平成23年7月）するとともに、9月15日（木）に事例研究や相互交流を目的とした「農地等活用ボランティア情報交換会」を、近畿農政局主催で滋賀県東近江市（ひがしおうみし）において開催しました。当日は、NPO法人、大学、企業、生協、府県、市、農業者、新聞社から35名の参加を得ました。

午前の部では、NPO法人愛のまちエコ俱楽部（滋賀県東近江市）の会員である、梨農家、ぶどう農家、ブルーベリー・茶農家の樹園地で、現地見学を行い、都市住民の受入状況について説明を受けました。

午後の部では、滋賀県農業技術振興センター栽培研究部の寺本部長から、鳥獣害対策についての話題提供を、NPO法人愛のまちエコ俱楽部の増田事務局長からエコ俱楽部の取組についての事例発表を、それぞれ行っていただきました。

引き続き、京都府立大学大学院の宮崎教授の進行により、増田事務局長、特定非営利活動法人里山俱楽部（大阪府松原市）の寺川理事、NPO法人棚田Lover's（兵庫県市川町）の永菅理事長、近畿大学農学部（奈良県奈良市）の津國准教授及び平尾 里山・棚田守り人の会（滋賀県大津市）の松本運営委員長から、それぞれの活動についての情報提供及び意見交換が行われました。

意見交換の最後には、「今後のボランティア活動の形態は、農業支援型から農

業保全型の取組が増えることが予想され、既に農地保全をビジネスのように展開する事例が出現」、「ボランティアを確保するためには、企業や大学との連携、参加者の意識に応じたインセンティブを高めるためのメニューの充実が必要」といったポイントを宮崎教授に取りまとめていただきました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/nouchi/novola/index.html>

(近畿農政局企画調整室・農村計画部農村振興課)

◇近畿農政局職員による「みんなで耕し隊」を派遣

～滋賀県東甲賀市甲賀町滝地域・京都府南山城村高尾地域～

近畿農政局では、先の「農地等活用ボランティア情報交換会」の取組に加え、耕作放棄地の再生・活用を支援するため、農政局職員による「みんなで耕し隊」を結成し、自らがボランティア活動にも取り組んでいます。

第1回は、8月27日（土）に滋賀県甲賀市甲賀町（こうかちょう）滝（たき）地域において、耕作放棄された水田（40アール程度）を対象に、農政局職員23名と集落の方等で草刈り等を行いました。この水田は、来年度、地域の営農農組合等による水稻の作付けを予定しています。

第2回は、9月18日（日）に京都府南山城村（みなみやましろむら）高尾（たかお）地域において、農政局職員15名と集落の方等で耕作放棄された水田（40アール程度）の草刈り等を行いました。今後、地元農家と都市住民等による耕作が検討されています。

(近畿農政局企画調整室・農村計画部農村振興課)

◇大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」開催案内

(10／30)

豊かで美しい農村環境と、活力と魅力にあふれた農村社会の創出を目指す教育・研究者、行政実務者、技術者及び地域生活者の交流・啓発の場である農村計画学会では、大震災復興支援シンポジウム「市町村の復興計画と農山漁村」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

○日時：平成23年10月30日（日）14：00～18：00

- 場所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール（宮城県仙台市）
- 参加費：無料
- 参加申込：事前申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

【問い合わせ先】

明治大学 服部俊宏

E-mail hattor@meiji.ac.jp

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/index.htm>

(農村計画学会)

◇農村計画学会2011年度秋期大会シンポジウム開催案内（11／26）

農村計画学会では、「『阿蘇草原保全の現状と再生への課題』～阿蘇の文化的景観の持続的保全管理と地域活性化を求めて～」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

- 日時：平成23年11月26日（土）13：30～17：20
- 場所：九州大学箱崎キャンパス内 国際ホール

なお、翌日には、学術研究発表会を開催します。

【問い合わせ先】

農村計画学会2011年度秋期大会実行委員会事務局

九州大学大学院農学研究院 福田 晋

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

E-mail sufukuda@agr.kyushu-u.ac.jp

TEL & FAX 092-642-2978

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/index.htm>

(農村計画学会)

◆◇ 編集後記 ◇◆

世界ジオパークネットワークは今月18日、高知県の「室戸」地域を「世界ジオパーク」に認定すると発表しました。

「世界ジオパーク」とは、世界的に貴重な地形や地質の成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えることができる大地の公園のことです。

ジオパークは、ユネスコの支援により2004年に設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されている活動で、その指針のなかには、「ジオツーリズムなどを通じて、地域の持続可能な社会・経済発展を育成すること」などが含まれています。

2010年3月現在で全世界では64地域が認定されています。国内では、今回の室戸のほかに、「洞爺湖有珠山」、「島原半島」、「糸魚川」、「山陰海岸」の4か所が認定されています。

これから秋の行楽シーズンを迎えます。皆さんも「世界ジオパーク」を訪れて、地球の成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えてみてはいかがですか。

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能な限り回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問合せについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）稻垣

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580
